

有馬記念館年報 第7号

令和2（2020）年度

令和4年3月
公益財団法人有馬記念館保存会

ごあいさつ

有馬記念館は、昭和34年（1959）の久留米市制70周年を記念しまして、石橋正二郎氏（株式会社ブリヂストン社長・当時）より施設を寄贈され、昭和35年に開館、その後久留米の郷土資料館として親しまれてきました。

平成21年度には、久留米市制120周年と石橋正二郎氏生誕120年を記念しまして、施設の改修工事を行い、平成22年11月28日にリニューアル・オープンしました。以来、特別展・企画展など、数々の展示会を開催し、大名有馬家や久留米藩ゆかりの歴史資料・美術工芸品を公開してまいりました。

令和2年度は、4月1日から5月31日までを新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館せざるを得ませんでした。リニューアル・オープン以降11年目を迎える2年度末までに延べ89,337人にご来館いただきました。今後も、郷土資料の収集及び調査、公開を進め、久留米をテーマとした展示会を中心に開催してまいります。

また、事業の周知のため、平成27年度に年報を創刊し、このたび第7号を発行することとなりました。当館の活動を知っていただき、今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月31日

公益財団法人有馬記念館保存会

会長 竹村 政高

目次

I 有馬記念館の概要	1
1. 施設の設置	1
2. 施設の管理	1
3. 施設の概要	1
4. 運営	2
5. 予算	3
6. 開館時間	3
7. 入館料	3
II 令和2年度事業の概要	4
1. 展示	4
2. 広報	7
3. 教育普及	8
4. 収蔵資料の活用状況	9
5. 入館者数	10

I. 有馬記念館の概要

1. 施設の設置

有馬記念館は、昭和 34 年(1959)の久留米市制 70 周年を記念して、昭和 35 年に郷土資料の調査・研究を目的に、当時の株式会社ブリヂストン社長・石橋正二郎氏より寄贈されたものである。市制 120 周年にあたる平成 21 年度に改修工事を行い、翌 22 年度にリニューアル・オープンした。

2. 施設の管理

公益財団法人有馬記念館保存会事務局（久留米市市民文化部文化財保護課内）

※当財団は公益財団法人の認定を福岡県知事より受け、平成 24 年 4 月 1 日より公益財団法人に移行。

3. 施設の概要

所在地 福岡県久留米市篠山町 444 番地

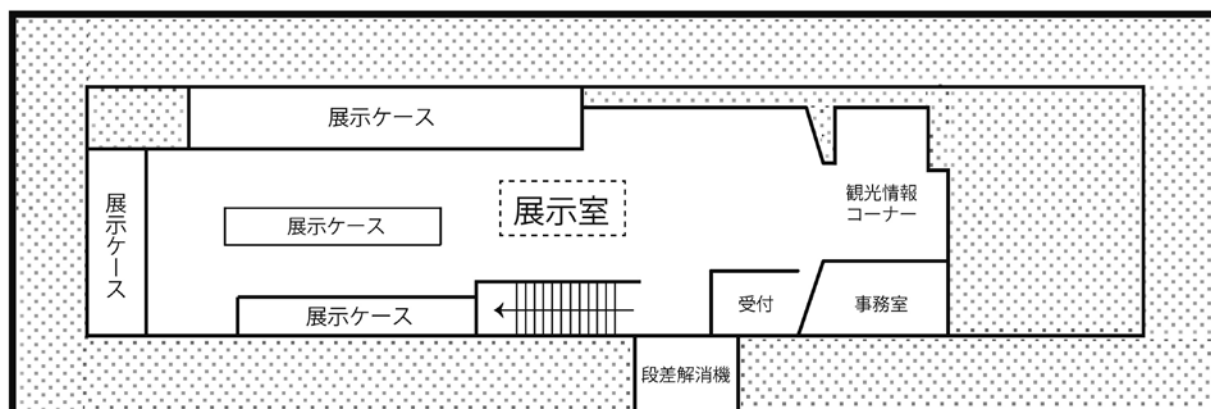
建築面積 492.9㎡

構造 鉄筋コンクリート造 2階建

竣工 昭和 35 年 3 月 28 日

（平成 22 年度有馬記念館内外改修・耐震改修工事実施）

有馬記念館展示室（2階）平面図



4. 運営

公益財団法人有馬記念館保存会

役員名	氏名	所属
会長	竹村 政高	久留米市市民文化部長
副会長	本村 康人	久留米商工会議所会頭
常務理事	西村 信二	久留米市市民文化部次長
理事	山田 茂人	篠山神社宮司
理事	永田 見生	久留米大学理事長
理事	澤田 裕介	株式会社ブリヂストン九州生産部門総務部長
監事	古江 寿則	株式会社福岡銀行執行常務役員・県南地区本部長
監事	井上 益規	久留米市会計管理者

評議員	中島 年隆	久留米市副市長
評議員	樋口 一成	久留米郷土研究会代表
評議員	河北 宣正	篠山神社総代
評議員	廣松 和美	公益財団法人久留米観光コンベンション国際交流協会常務理事
評議員	塔田 恒久	株式会社ブリヂストン九州生産部門総務部総務課長

・事務局

事務局長（1）－ 事務局次長（1）－ 事務局員（6）

職名	氏名	所属
事務局長	水島 秀雄	久留米市市民文化部文化財保護課 課長
事務局次長	白木 守	同 課長補佐
書記	岡崎 明美	同 事務主査
書記	神保 公久	同 主任主事
書記	穴井 綾香	同 主任主事
書記	内堀 一弘	同 主任主事
書記	大塚 麻理子	同 主任主事
書記	原口 花恵	同 主事

（令和3年3月31日現在）

5. 予算

経常収益費計 15,917,708 円

経常費用計 16,024,839 円

6. 開館時間

開館時間 10:00 ～ 17:00（但し、入館は 16:30 まで）

休館日等 毎週火曜日（火曜日が祝祭日の場合はその翌平日）

年末年始 展示替期間

7. 入館料

- ・一般 210 円（150 円） 高校生以下無料 ※（ ）内は 15 名以上の団体料金
- ・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の交付を受けている方及びその介護者 1 名は無料
- ・その他の減免制度あり



有馬記念館 外観

Ⅱ. 令和2年度事業の概要

1. 展示

(1) 第1回企画展「山水風景の旅～久留米藩御用絵師の絵画からⅡ～」

会 期 令和2年4月25日(土)～8月31日(月)

内 容 江戸時代、久留米藩の御用絵師を勤めた三谷家による絵画資料から、最後の御用絵師である三谷有信の「溪楽図」をはじめとする掛け軸や、藩主別邸である市ノ上御殿の襖絵、修行の過程を垣間見ることのできる臨画や画稿類などを公開した。展示総数17点。

なお4月25日から5月31日までは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となった。



展示風景

(2) 第2回企画展「有馬入城前夜シリーズⅡ～小早川・田中の時代～」

会 期 令和2年9月26日(土)～令和3年1月11日(月)

内 容 九州の戦国時代が終わりを告げてから、江戸時代の天下泰平の世を迎える有馬入城前夜、筑後・久留米の地は戦国の雄・毛利元就の九男でキリシタン大名の小早川秀包、次いで筑後一円を領した田中吉政・忠政によって治められていた。

2021年の有馬豊氏久留米入城400年に向けた「久留米入城前夜シリーズ」の第2弾として、「小早川・田中の時代」をテーマに、両氏の時代の古文書や出土遺物などを展示した。展示総数39点。



展示風景

(3) 第3回企画展「人形づくし、春づくし」

会 期 令和3年2月6日(土)～3月31日(水)

内 容 有馬家に伝わる人形やひな調度は、象牙や銀などの贅沢な素材を用い、華やかに作られている。春の訪れを祝福するかのような可愛らしい作品の数々を一同に揃え展示した。展示総数約500点。

会期中の関連イベントとして3月27日(土)に、展示されていた資料でもある、からくり儀右衛門こと田中久重作のからくり人形「弓曳き童子」(久留米市指定有形文化財)の実演を行い、40名の参加があった。



展示風景



展示風景



実演した弓曳き童子

2. 広報

(1) 広報活動

◆印刷物

年間スケジュールリーフレット

各企画展のポスター・チラシの製作・配布（3回）

◆ホームページ及び facebook

企画展や関連イベントの案内、開館情報、久留米入城 400 年記念関連情報等を随時更新

(2) 報道記事

掲載月日	掲載紙等	内容
6月26日	西日本新聞 朝刊	御用絵師の山水画紹介 久留米市有馬記念館で企画展
9月27日	西日本新聞 朝刊	「小早川・田中の時代」展開幕 有馬家入城前の久留米を知る
1月7日	西日本新聞 朝刊	久留米入城 400 年を迎える有馬家の次期当主 有馬里佳
2月1日	西日本新聞 朝刊	有馬家と久留米 強まる絆
2月2日	朝日新聞 夕刊	「人形づくし、春づくし」
2月19日	西日本新聞 朝刊	小さくても精巧 有馬家のひな飾り
3月3日	読売新聞 朝刊	有馬家入城 400 年で事業
3月12日	西日本新聞 朝刊	有馬豊氏入城とともに発展 「城島瓦」の歴史紹介
3月13日	西日本新聞 朝刊	デスク日記

(3) 展示・イベント情報掲載紙

◆新聞

朝日新聞 読売新聞 西日本新聞

◆雑誌等

SECOND 月刊はかた ノーマ・ジーン ご当地新聞くるめすたいる
久留米広域圏イベントカレンダー COCOMI アン・ナップル
POTARI ほとめき Agena Dogena

◆地方公共団体広報紙

広報くるめ

(4) 久留米入城 400 年ロゴマークの作成

令和 3 年（2021）に久留米藩初代藩主有馬豊氏の久留米入城 400 年という節目を迎えるにあたり、「久留米入城 400 年」の P R を目的としてロゴマークの作成を行った。ロゴマークの使用については申請は必要だが、使用料は無料とし、広報誌や封筒、記念グッズ、関連商品のパッケージなどに幅広く利用いただいている。



ロゴマーク



ロゴマークの使用例(封筒)



同(缶バッジ)

3. 教育普及

◆学校見学受入れ

11 月 6 日 福岡県立明善高等学校（44 名）

4. 収蔵資料の活用状況

◆印刷物掲載

許可日	申請者	目的	内容
9月14日	(株)ちくぎん地域 経済研究所	情報誌中の特集記事に使用	有馬則頼肖像 有馬豊氏肖像 有馬頼永肖像
11月11日	朝倉市秋月博物 館	特別展図録に掲載	御家中略系譜九加 中扨御徒士略系図二 自登至與
11月22日	(公財)久留米観 光コンベンショ ン国際交流協会	ホームページへの掲載	有馬頼寧写真
12月4日	個人	情報誌 Agena Dogena19号への 掲載	有馬豊氏肖像 有馬頼僮肖像 有馬頼永肖像 有馬頼咸写真
1月6日	(株)阪急交通社	団体ツアー募集広告への掲 載	束帯雛 奈良人形 貝合わせ雛
3月5日	久留米市教育委 員会	パンフレットに使用	有馬豊氏肖像
3月15日	(公財)久留米観 光コンベンショ ン国際交流協会	パンフレットや情報誌への 掲載	鉄鑄地紺糸緘五枚具 胴足(10代藩主有馬 頼永所用)
3月31日	小郡市教育委員 会	企画展示に使用	有馬頼僮肖像

5. 入館者数

(1) 令和2年度 入館者数（企画展別）

展示会名	開館日数	入館者数（人）		
		有料	無料	合計
第1回企画展「山水風景の旅 ～久留米藩御用絵師の絵画からⅡ～」	79	421	228	649
第2回企画展「有馬入城前夜シリーズ Ⅱ～小早川・田中の時代～」	89	1,283	313	1,596
第3回企画展「人形づくし、春づくし」	46	841	278	1,119

(2) リニューアル・オープン～令和2年度 入館者数（年度別）

年度	H22(※1)	H23	H24	H25	H26	H27
入館者数 (人)	4,375	11,264	28,148	5,605	5,388	6,578
展示会数	企画展2	特別展1 企画展3 常設展3	特別展1 企画展1 常設展3	企画展2 常設展2	企画展3	企画展4
年度	H28	H29	H30	R1(※2)	R2(※3)	
入館者数 (人)	8,846	6,116	6,252	3,401	3,364	
展示会数	特別展1 企画展3	企画展4	企画展3	企画展3	企画展3	

※1 11月28日リニューアル・オープン以降

※2 3月7日から31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

※3 4月1日から5月31日まで新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館

有馬記念館年報 第7号

令和2（2020）年度

令和4年3月31日

発行 公益財団法人有馬記念館保存会
福岡県久留米市篠山町 444

印刷 香和印刷株式会社
